

3 学年 総合的な学習の時間指導案 (小学校)

1 単元名 「世界の果てまでいってQ」

2 単元について

本校の第3学年では、毎年総合的な学習の時間に国際理解の視点から、世界の様々な国の文化や生活について調べ、11月に学習発表会（九曜の子発表会）を行っている。そこで本単元では、全28時間を通して他国の文化や生活について児童自ら課題を設定して調べること、単元の最後に自分の考えを相手に分かりやすく伝えることを目標としている。

本題材では、単元の「つかむ」の段階で世界各国の「言語」「あいさつ」「食べ物」「衣装」「遊び」などを他の教科と関連付けながら実際に体験したり、写真などを見たりすることによって、児童が自ら興味をもてるようにし、その先の「課題設定」や「課題追及」に進んで取り組めるようにしていきたい。単元の後半には、クラスごとに世界の国々を地域ごとに割り振り、グループごとに課題を決めて調べ学習を行い、保護者や他の学年の児童に伝えられるようにしていく。これらの活動から児童が今後4、5、6年生での学習を積み重ねながら、国際社会の一員であることを自覚し、日本だけでなく、世界の国々へ目を向けるためのきっかけとしていけるようにしたい。

3 単元の目標

課題設定能力	・世界の国々について、教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。
課題追及能力	・自分の課題について調べたり、体験したりして解決することができる。
学び方・ものの考え方	・活動を通して、自分や友達の頑張りや良さに気付いたり、他の教科に生かしたりできる。
主体的・創造的な態度	・友達と協力して取り組んだり、まとめた内容をわかりやすく伝えたりすることができる。
自己の生き方	・他国の文化について知り、日本の文化、生活について考えを持つことができる。

4 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
課題設定の力	世界の国々の言語や文化などに興味をもち、自分なりの課題を設定している。
課題追及の力	自分で課題設定した国の文化などについて、インターネットや本を使って調べている。

学び方・ものの考え方	活動を通して、自分や友達の頑張りや良さに気付いている。
主体的・創造的に取り組む態度	グループの友達と協力して各国の文化について調べ、わかったことなどをまとめている。
自己の生き方	他国の文化について知り、日本の文化、生活について考えを持っている。

5 研究主題との関連

千葉県教育研究会 国際理解教育・外国語活動部会 研究主題 心の国際化から、共に生きる社会へ ～国際性豊かな児童生徒の育成を目指して～

本部会の研究主題は、「心の国際化から、共に生きる社会へ ～国際性豊かな児童生徒の育成を目指して～」である。「国際性豊かな児童生徒」とは、言語や文化の違いにとらわれず、様々な人と話したり、活動したりする中で互いの人間関係を深めていくことができる児童だと考える。自分と他者との違いにばかり目を向けず、どんな人とも積極的にコミュニケーションをとることができる主体的な態度を育てていきたい。

そこで本時では、授業の最後に行う「インタビューゲーム」と活動で利用する「ワークシート」を工夫することによって研究主題に迫っていけるようにする。

(1) インタビューゲーム

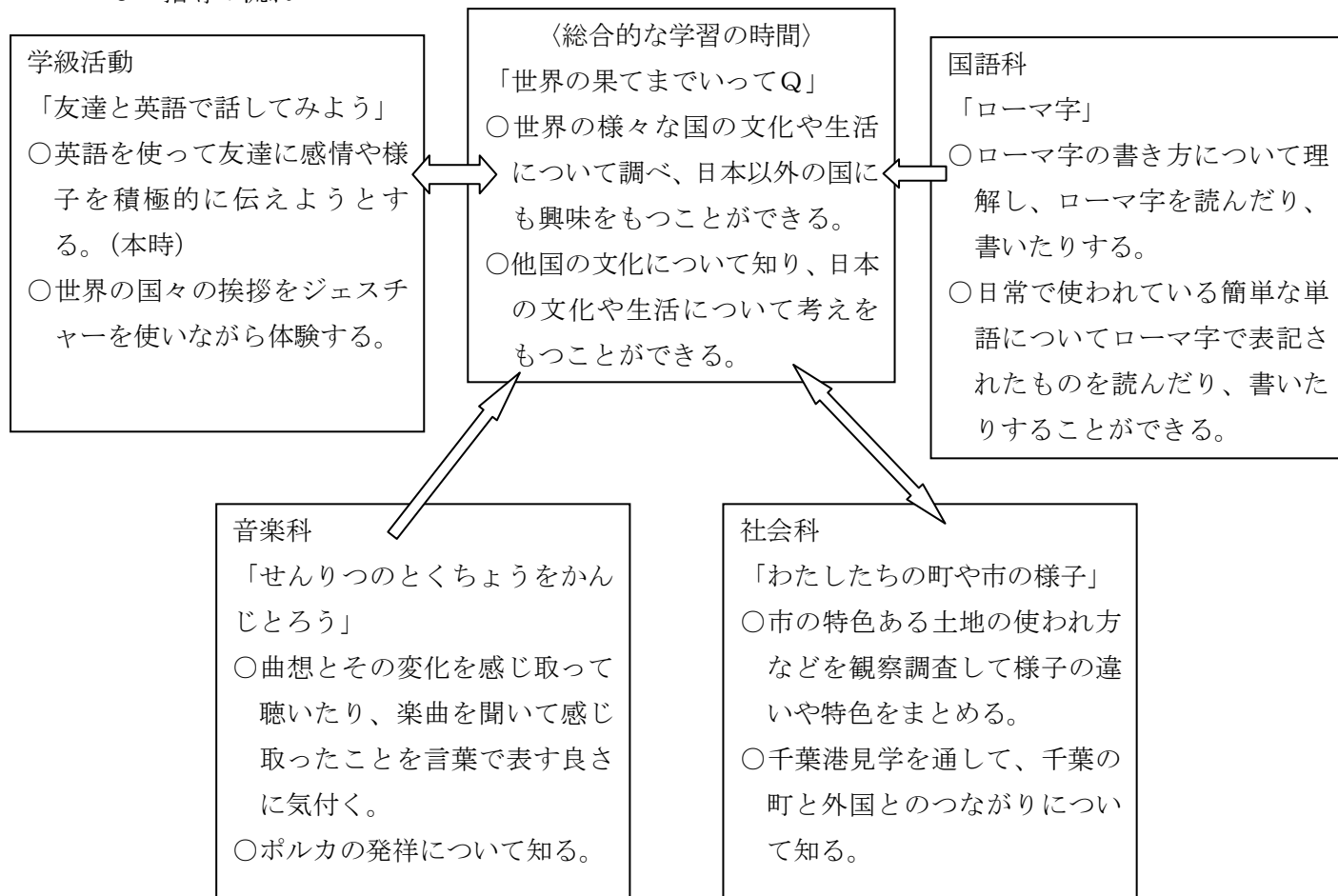
本時では授業の最後にインタビューゲームを行う。それまでの活動で児童は、“How are you?”という今日の気分を訪ねる言い方と、“I’m fine.”などの受け答えをゲームや歌を通して習得してきている。そこで最後のインタビューゲームでは、相手の受け答えに対して更に“Are you OK?”や“Good.”などの簡単な言葉を用いて、単調なやり取りではなく、相手に応じた反応を返せるようにする。このことによって、児童自らが自分で考えて言葉を選択し、相手と通じ合う経験を重ねることによって、「もっと話したい」という積極的にコミュニケーションをとるための態度を育てていけると考える。

(2) ワークシートの工夫

本時ではインタビューゲームの際にワークシートを用いる。ワークシートにはインタビューをした相手の答えた気分に応じて「名前シール」が貼れるようになっている。児童はインタビューが終わる度に友達から「名前シール」を貼ってもらうことになる。このことにより、児童が活動中や活動が終わった後にワークシートを見た時、視覚的にたくさんの友達にインタビューをしたという実感を児童が味わえるようにする。それと同時にもらったシールを見ることで「次は〇〇さんにインタビューしてみたい。」という意欲や「次の人はどんな気分なのだろう。」という期待感をもたせることによ

て、児童が主体的に友達と関わっていけるようにしていく。

6 指導の流れ



7 指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	<p>〈世界の文化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果から、世界には日本以外にいくつの国があるのかや、日本でも浸透している他国の文化を見つける。 英語が使われている国や公用語として使われている英語の価値について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図や国旗等を用いて世界の国々について紹介する。 国際会議などの様子を見せ、公用語として英語が使われていることを取り上げる。
国語科	<p>〈ローマ字〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ローマ字の書き方について理解し、自分の名前をローマ字で書く。 日常で使われている簡単な単語がローマ字で表記されていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に地域で使われているローマ字表記の看板などを見せ、日常で多く使われていることに気付かせる。
学級活動① (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使った簡単なコミュニケーション場面を体験し、相手に感情や様子を積極的に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と会話する時間を多く確保し、児童が積極的に感情や様子を伝えられるようにする。
学級活動②	<ul style="list-style-type: none"> 世界各国の様々なあいさつについて知り、身振りを加えて友達と実際にやってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画や音声教材を使って実際に見ることで興味をもてるようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 他国の食べ物や民族衣装、遊びなどについて知り、他国の文化に興味をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物、衣装、遊びなどについて写真を見たり、実物を触ったりすることで興味をもてるようにする。
社会科	<ul style="list-style-type: none"> 学校の近くにある千葉港の見学をし、港にある船の名前や掲げてある国旗から日本と外国との関わりについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真を利用して撮影した船体や国旗を使って振り返りを行う。
音楽科	<p>〈せんりつのとくちょうをかんじとろう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「山のポルカ」を聞いて、曲想を感じ取りながら、チェコやポーランドで広がりを見せたポルカの特徴について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際にポルカを歌って、曲想の違いに気付けるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 今まで調べたり、体験したりした他国の文化の中から自分が興味をもったことについて友達と話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで書いてきた振り返りシートを使って、自分が興味をもったことについて話せるようにする。

課題設定	4	〈自分の課題を設定〉 ・前時までの他国の文化探しをもとに、自分の興味をもったことを友達と伝え合い、課題を設定する。	・自分が驚いたことや初めて知ったことなどをもとに課題設定するよう助言する。 ・今まで学習した文化について概要を簡単に振り返る。
	5		
	6		
	7		
	8		
課題追求	9	〈友達と協力し、見通しをもつ〉 ・課題設定した国が同じ友達を見つけてグループを作る。 ・友達と協力して、調べ方やまとめ方の見通しを立てる。 ・グループ内で調べたい内容について話し合い、項目ごとに分ける。	・自分が今まで学習したことや体験したことをもとに課題が設定されているか助言する。 ・テーマや項目ごとに分けるなど、まとめ方の工夫を助言する。
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
整理・分析	17	〈課題解決のための調べ学習〉 ・グループごとの課題に合わせて本やインターネットを用いて調べる。 ・調べた結果を項目ごとに整理し、新聞や紙芝居などを使ってまとめていく。 ・発表の準備（練習）をする。 ・互いに見合ってアドバイスし合う。	・上手く情報を集められないグループには、資料を準備し、その中から必要な内容を選べるようにする。 ・キーワードとなる言葉をもとに伝えたいことをまとめられるよう支援する。
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
まとめ・表現	24	・調べたことを相手に分かりやすく伝える。 ・活動全体を通して学習したことをもとに、グループごとに発表する。（九曜の子発表会） ・学習を振り返り、国際人としてどのように生きていくかのヒントを学び、これからやってみたいことについて話し合う。	・自己評価と他者評価をし合い、意見を交換し合う。 ・国際人としてどのように生きていくかのヒントが隠されていることを取り上げる。
	25		
	26		
	27		
	28		

※来年度からの外国語活動を見通し、9月から週2回の朝学習の時間にアルファベットやクラスルームイングリッシュなど、簡単な英語表現を取り入れた活動をしていく。

8 本時の指導

(1) 本時について

前時までの学習で、児童は世界には様々な国があること、世界の人々がコミュニケーションをとるために公用語として英語を用いていることなどを知り、他国への興味を深めてきた。総合的な学習の時間外でも、国語のローマ字の学習では、ロー

マ字の読み書きを初めとして、アルファベットに触れている。

そこで本時では、他国の文化や言語に興味を持って課題設定していくための入り口として、外国語の中でも公用語として広く使われている英語に焦点を当てた活動をしていくことにした。友達に今日の気分を聞く活動を通して、日本語との違いだけでなく、英語の言葉の響きの心地よさを味わわせるようにしていきたい。また、本時では最後に「インタビューゲーム」を行う。実際に英語を使ったコミュニケーションを児童が体験したり、児童が様々な相手と関わり合ったりすることで、コミュニケーションをとることの大切さと楽しさを感じ、他国の文化や言語に興味をもつことができるきっかけにし、その後の総合的な学習の時間に繋げるようにしていく。なお、本時は学級活動として行う。

(2) 本時の目標

- ・表情やジェスチャーをつけて相手に感情や様子を積極的に伝えようとする。

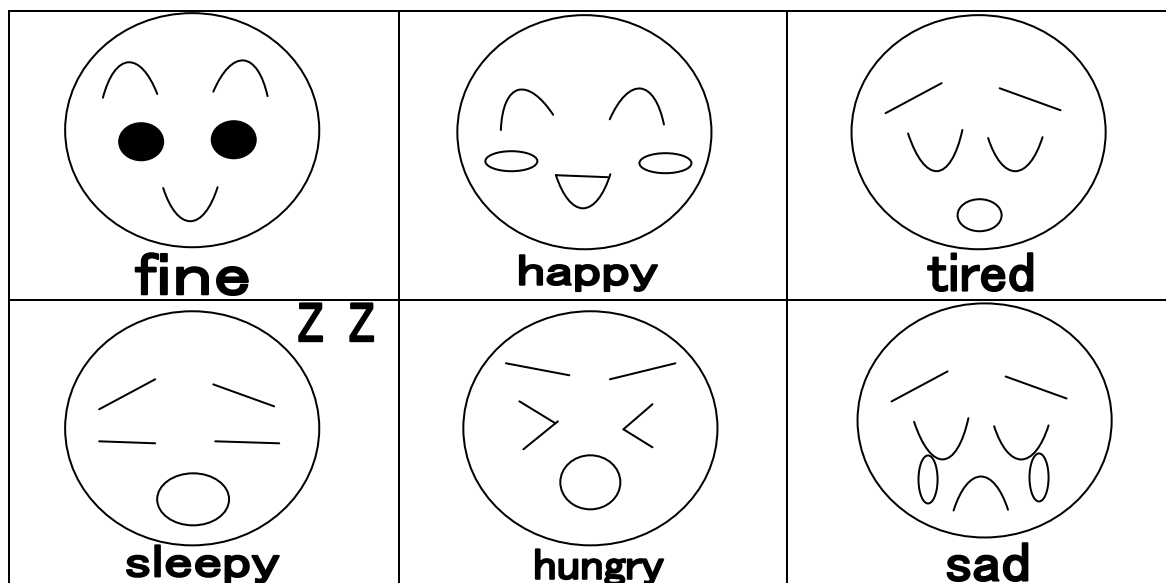
(3) 本時の展開

過程	学習内容と児童の活動	指導者の支援と留意点 (○) 評価 (◇)	準備物
挨拶 復習	<p>1 前時までの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国にはそれぞれ国旗があったよ。 ・色んな国の人が集まった会議で英語が使われていたよ。 <p>2 今日のめあてを確認する。</p>	<p>○前時に学習した国の名前を思い出せるように国旗を掲示する。</p> <p>○世界の国々で公用語として英語が使われていたことを想起させる。</p>	国旗カード
友達と英語で楽しく話してみよう。			
展開 ①	<p>3 感情を表す表現を出し合い、ハローソングを歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How are you? ・ I'm fine. ・ I'm happy. ・ I'm hungry. ・ I'm sleepy. ・ I'm tired. ・ I'm sad. 	<p>○顔の表情をつけながら練習することで、どのような感情を表しているのかが理解できるようにする。</p> <p>○慣れてきたらリズムを使って自然なテンポで声に出せるようにする。</p>	フェイスカード
展開 ②	<p>4 ミッシングゲームをする。</p> <p>T: Close your eyes. What's missing? C: . . . Happy!</p>	<p>○6つの感情を十分に発音させたり、カードを見せたりしてから行う。</p> <p>○表現に慣れ親しむため、必ずリピートさせる。</p>	

<p>展開 ③</p>	<p>5 キーワードゲームをする。 C: How are you? T: I'm happy. C: How are you? T: I'm fine! (キーワードの場合は消しゴムを取る。)</p>	<p>○児童には感情を聞く言葉に慣れ親しませるようにする。 ○ゲームが楽しくできるよう、ルールの確認を十分に行う。 ○児童がわかりやすいように前でデモンストレーションを見せる。</p>	
<p>展開 ④ まとめ</p>	<p>6 インタビューゲームをする。 A: Hello, ○○ (名前) . B: Hello, ○○ (名前) . A: How are you? B: I'm happy. A: Good! B: How are you? A: I'm hungry. B: Are you OK? AB: Thank you!</p>	<p>○友達の答えに一言返すように助言する。 ○会話をする際に“Nice smile” “Eye contact” “Clear voice” に気を付けることを確認する。 ○インタビューしたらワークシートに相手のシールを貼ってもらう。 ◇相手に感情や様子を積極的に伝えようとしている。</p>	<p>ワークシート</p>
	<p>6 今日の活動を振り返る。</p>	<p>○振り返りシートに今日初めて知ったことなどを書かせるよう助言する。 ○次回は英語以外の言語であいさつを体験することを伝える。</p>	<p>振り返りカード</p>

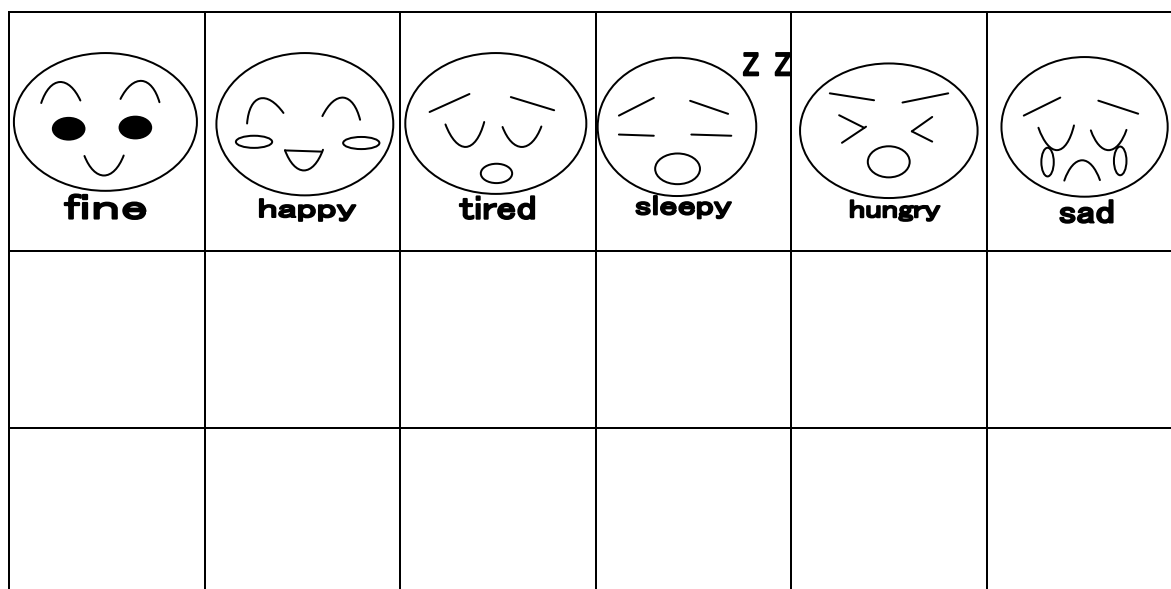
課題設定や追及の際に児童が活用できるよう、単元を通して振り返りカードは積み重ねていく。

〈資料① フェイスカード〉



〈資料② ワークシート〉

How are you?



※実物はA4版で作成

〈資料③ 振り返りカード〉



世界の果てまでいってQ ふりかえりカード



日づ け	今日のテーマ	今日学習したこと